

平成28年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	行政経営部
部(局)長名	稲田 勲
理事名	川本 義一（総合計画担当）
理事名	中川 明仁（公共施設最適化担当）

【基本姿勢】

本市の人口は、近年では転入超過に伴う社会増により増加傾向にありますが、長期的には少子高齢化に伴う自然減により減少に転じることになります。

こうした少子高齢化と人口減少は、市税収入の減少や、社会保障関係経費の増加をもたらすなど、財政面で影響を与えますが、将来の収支見通しのもと、今後の社会状況の変化に備えた対応が必要となります。

また、右肩上がりの時代に整備を進めた公共施設が老朽化し、更新の時期を迎えますが、今後の人口動向を踏まえた、質と量の両面での施設の最適化が必要となります。

本市がこれから直面することになる新たな諸課題にも対応できるよう、効果的・効率的な予算配分、公共施設の最適化、ICT環境の整備など、行政活動の資源配分をPDCAサイクルの下で適切に行いながら、健全な財政基盤の確立と、将来への必要な投資の両立を図り、持続可能な市政運営に努めます。

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成28年度 達成状況
1	効果的・効率的な実施計画の策定及び予算編成	A
2	行政評価の着実な推進	A
3	中核市移行についての検討	B
4	吹田市第4次総合計画の策定	A
5	公共施設最適化の推進	A
6	学校・園施設整備の推進	A
7	第3期情報化推進計画アクションプランの推進	A

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 1	効果的・効率的な実施計画の策定及び予算編成
--------	-----------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	企画財政室の実施計画・財政グループにおいて一体的に取り組むことになった実施計画策定・予算編成が効果的・効率的なものとなるよう取組を進めます。
---------------------	------------------------------------------------------------------------

活動目標
グループ内での議論・検討を進めながら、①スケジュールの設定・管理、②ヒアリング・査定などの事務手続きの改善、③将来負担を見据えた予算配分のあり方を含む編成方針の策定など、事務の円滑化に向けた取組を進めます。

具体的な取組実績
<p>①補正予算・当初予算に係る実施計画策定及び予算編成に向けて、従来のスケジュールの見直しに取り組みました。</p> <p>②昨年度までは、実施計画策定においては、全ての事業について、ヒアリングを行っていましたが、今年度は、新規・拡充・廃止・縮小・普通建設事業について主にヒアリングを行い、予算編成においては、継続事業を中心に行うこととしました。</p> <p>③配分予算制度を通じて、将来負担を見据えた予算編成に取り組みました。</p>

達成目標
翌年度に向けた実施計画策定・予算編成の作業を効果的・効率的な形で完遂します。

達成状況	達成度
一人の担当者が、実施計画策定から予算編成までを担当することで、協議や査定に係る時間の縮減につながるなど、効果的・効率的に取り組むことができました。	A
	達成

総合評価・総括
企画財政室の実施計画・財政グループで一体的に取り組むことになった実施計画策定・予算編成について、昨年度まで実施計画提出時点においては、全ての事業について、ヒアリングを行っていたものを今年度は、新規・拡充・廃止・縮小・普通建設事業について主にヒアリングを行い、予算編成においては、継続事業を中心に行うこととしたことや、配分予算制度を通じて、将来負担を見据えた予算編成に取り組むことができたほか、一人の担当者が、実施計画策定から予算編成までを担当することで、協議や査定に係る時間の縮減につながるなど、より効果的・効率的な実施計画策定・予算編成を行うことができました。

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 2 行政評価の着実な推進

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標) 行政評価において更なる客観性や透明性の向上を図りながら、事業の妥当性・有効性・効率性・公平性・持続可能性を検討し、市民ニーズを踏まえつつ、本市の魅力や強みをより引き出せるような事業の実施につなげていきます。

活動目標
前年度の施策・事業の実施内容を検討するため、各担当所管で1次評価（内部評価）を実施します。また、行政評価委員会に学識経験者及び有識者のほか、今年度から公募市民にも参加を求め、2次評価（外部評価）を実施します。

具体的な取組実績
各担当所管で106施策1173事業の1次評価を実施しました。また、行政評価委員会を6回開催し、そのうち4回に学識経験者及び有識者のほか、初めて公募市民にも参加いただき、5施策28事業について2次評価を実施しました。

達成目標
多様な主体からの意見聴取による行政評価の更なる客観性・透明性の確保や、市民参画の推進を図り、施策や事業に反映します。

達成状況	達成度
学識経験者、有識者及び公募市民から直接いただいた意見や助言を踏まえた2次評価を実施し、その結果を受けて、担当所管において事業の見直し・改善の検討を行うなど施策や事業へ反映しました。	A 達成

総合評価・総括
行政評価委員会に学識経験者及び有識者のほか、公募市民にも参加いただき、意見や助言を直接お聴きすることにより、評価の客観性・透明性を高めるとともに、市民参画を推進することができました。
今後は、より客観的な評価基準に基づいて事業を分析・評価するため、評価の精度を高める仕組みを検討します。

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 3	中核市移行についての検討
--------	--------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	中核市移行について、移行することのメリット、デメリットについて詳細に検討を行い、市民に情報を発信することで、中核市移行の市民理解を促進します。
---------------------	-------------------------------------------------------------------------

活動目標
中核市移行のメリット、デメリットについて詳細に検討を行い、市民に情報を発信します。

具体的な取組実績
先行市である枚方市や八尾市、岸和田市を訪問し情報収集を行うとともに、平成28年5月に庁内検討会議を設置し、移行に伴うメリットや課題、財政的影響等についての検討を進めました。 また、中核市移行に関する調査特別委員会に資料を示し、説明を行いました。

達成目標
中核市移行について、市民の理解を促進します。

達成状況	達成度
市民の理解が十分に促進されたとまでは言えませんが、中核市移行をめざす本市の考え、移行のメリット等について、議会定例会や特別委員会で、可能な限り説明しました。	B
	一部達成

総合評価・総括
<p>中核市への移行に関する情報収集のため、先行市を訪問し、ヒアリングを行うとともに、大阪府との間で、意見や情報の交換を行い、提供いただいたデータをもとに、移行に伴うメリットや課題、移譲事務、財政的影響等を整理しました。こうした内容については、中核市移行に関する調査特別委員会に資料としてお示しし、説明を行いました。</p> <p>また、中核市の制度をはじめ、移行に係る手続きやメリット、財政負担について、ホームページを活用し、市民への啓発や情報発信に取り組みました。今後、移行準備を進める中で、議会や市民の皆さまに、丁寧な説明を行っていきます。</p>

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 4	吹田市第4次総合計画の策定
--------	---------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	吹田市第4次総合計画を策定し、本市がめざすべき将来像の実現に向けた取組を推進します。
---------------------	--------------------------------------------

活動目標
基本構想の策定に向け、審議会等において検討を行います。
多様な市民からの意見を取り入れるため、市民参画の機会の充実を図ります。

具体的な取組実績
平成28年6月から10月にかけて、庁内での検討として策定委員会を3回及び作業部会を9回、また、各部局のマネジメントによる検討会議も開催のうえ、基本構想(素案)をとりまとめ、11月10日、総合計画審議会に諮問を行いました。同審議会においては、全体審議を4回及び部会審議を6回開催し、基本構想(素案)の検討が進められました。また、市議会の総合計画検討特別委員会においても基本構想(素案)に対して様々な意見をいただき、それらも踏まえながら検討を進めてきました。
平成28年7月に中学生を対象としたワークショップを1回、及び高校生を対象としたアンケート調査を市内2校に実施しました。9月から10月にかけては全6回のシリーズ企画による市民ワークショップを実施しました。また、大阪大学及び関西大学の政策研究系サークルに政策研究を依頼し、研究成果の発表会を行いました。11月から翌年3月にかけては、市民団体リレーインタビューを12団体に実施しました。

達成目標
基本構想(素案)をとりまとめます。
市民意見を踏まえた検討を行い、計画に反映します。

達成状況	達成度
基本構想(素案)の諮問後、総合計画審議会において検討が進められ、平成29年2月21日開催の第4回審議会において、現時点における基本構想(素案)の整理に向けた審議が行われました。また、4月5日開催の第5回審議会において、現時点におけるとりまとめが行われる見込みです。	A 達成
市民意識調査等分析報告書や市民ワークショップの報告書等の内容を踏まえ、庁内及び総合計画審議会において検討を進めてきました。	A 達成

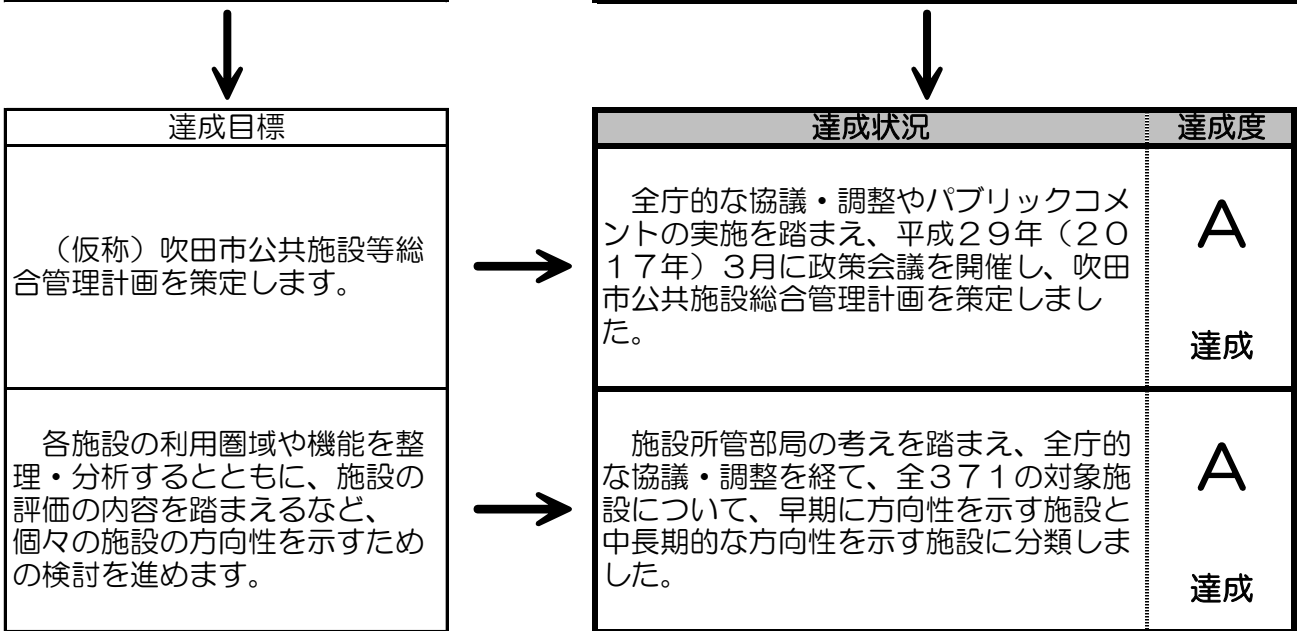
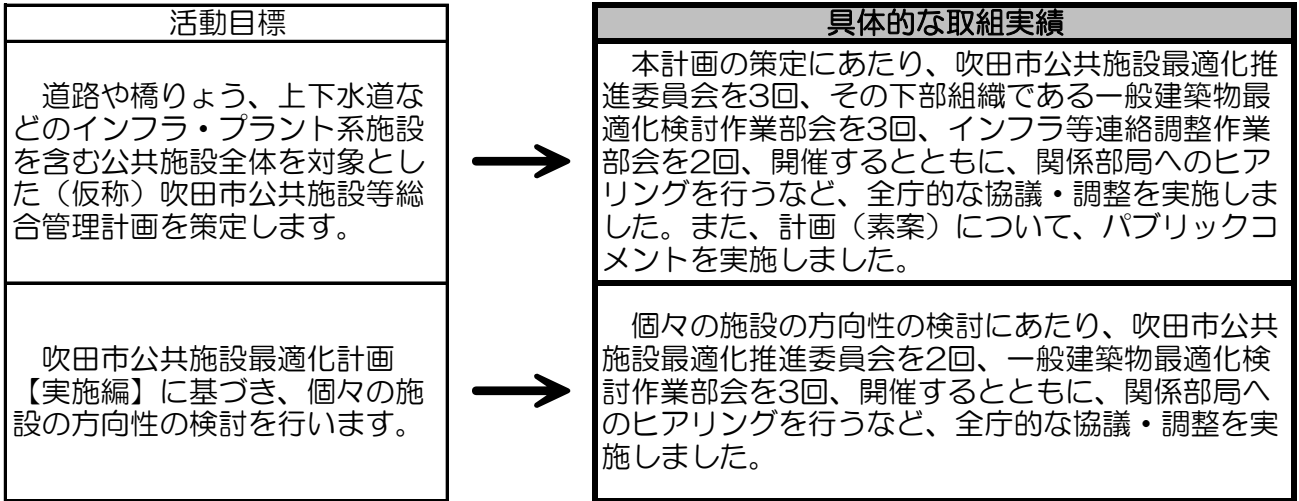
総合評価・総括
基本構想の策定に当たっては、市民参画の取組の一環として市民ワークショップ等を実施し、広く市民意見の聴取に努めるとともに、庁内においては総合計画策定委員会を中心に全庁一体となって基本構想(素案)の検討を進めてきました。また、総合計画審議会での審議においては、聴取した市民意見や市議会の総合計画検討特別委員会からの意見も踏まえた議論が進められ、平成29年4月には現時点における基本構想(素案)をとりまとめでいただく見込みです。

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 5 公共施設最適化の推進

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向
(中期的な目標) 高質で安全なまちづくりに資するため、計画的な利活用や維持管理、長寿命化などの検討を行い、公共施設最適化を推進します。



総合評価・総括

吹田市公共施設総合管理計画は、これまで取り組んできた一般建築物及びインフラ・プラント系施設の基本的な考え方を整理しながら、取りまとめました。
 今後は、本計画に基づき、公共施設の総合的かつ計画的な管理を進めます。
 一般建築物における個々の施設の方向性の検討については、吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、早期に方向性を示す施設と中長期的な方向性を示す施設に分類しました。
 今後は、早期に方向性を示す施設を中心に具体的な検討を進め、個別の計画を作成します。

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 6	学校・園施設整備の推進
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	老朽化対策に取り組むことで学校施設の長寿命化を図り、安心安全で快適な学校・園施設の整備を推進します。
---------------------	----------------------------------------------------

活動目標
老朽化の進む学校・園施設の長寿命化を図るため、校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事やトイレリニューアル工事の設計・工事、また、施設修繕、工事等を実施します。

具体的な取組実績
校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事やトイレリニューアル工事の設計・工事を行い、その他に、外壁、ガス管改修工事等の学校・園施設の修繕、工事を行いました。

達成目標
吹田市公共施設最適化の考え方を踏まえ、安心安全で快適な学校施設の計画的な整備を図ります。平成28年度は、小学校8校と中学校4校の校舎、及び小学校3校と中学校2校の屋内運動場（体育館）の大規模改造工事、並びに小学校8校と中学校3校のトイレリニューアル工事について実施設計を行い、小学校4校と中学校2校の校舎、及び小学校3校と中学校2校の屋内運動場（体育館）の大規模改造工事、並びに小学校9校と中学校2校のトイレリニューアル工事を実施します。

達成状況	達成度
校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事やトイレリニューアル工事の設計・工事を年次計画どおり実施し、他の工事においても、老朽化対策を施すことにより、施設の長寿命化を図ることができました。また、学校施設の修繕については、学校要望に基づき緊急対応等を行いました。	A
	達成

総合評価・総括
<p>平成27年度に完了した学校施設の耐震補強工事に引き続き、老朽化対策として校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事、トイレリニューアル工事を年次的に実施する計画を策定し、平成28年度については計画どおり実施しました。</p> <p>今後も計画どおりに実施し、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図り、安心安全で快適な学校・園施設の整備に努めます。</p>

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 7 第3期情報化推進計画アクションプランの推進

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向
(中期的な目標) 「市民サービスの質的向上」「活力あるまちの創造」「安心・安全なまちづくりの推進」「行政経営支援の強化」を計画の柱とし、産学官と市民が絆を強め、活力あるまちづくりにITで貢献することを目標にして、情報化施策に取り組みます。

活動目標
共通基盤システムの構築及び基幹系システムの再構築の進捗管理を行います。
情報セキュリティ管理の仕組みを強化します。
第3期情報化推進計画アクションプランの中間見直しを行います。

具体的な取組実績
基幹系システム再構築プロジェクト全体の進捗を管理する組織であるPJMO (Project Management Office)を10回開催し、開発における諸問題の調整・解決及び成果物の品質確保等、プロジェクトの円滑な推進を実現し、開発作業を完了させました。
情報セキュリティ強化対策として、庁内ネットワークの再構築を実施し、セキュリティ向上を図りました。
情報化推進懇談会を2回開催し、第3期情報化推進計画を見直すとともに、各所管課に進捗状況を確認し、その結果を反映させた平成29年度アクションプランを策定しました。

達成目標
マイナンバー制度対応も含めた基幹系システム再構築をスケジュールに遅れを生じることなく進めます。
庁内ネットワークを再構築し、マイナンバー制度における情報セキュリティ対策の抜本的な強化を図ります。
第3期情報化推進計画の中間見直しのために情報化推進懇談会を開催します。またアクションプランの実施状況の調査、評価を反映させた平成29年度アクションプランを策定します。

達成状況	達成度
基幹系システム再構築方針に従い、マイナンバー制度を含め、各システム毎の予定されたスケジュールどおりに最適なシステム構築を進めました。	A 達成
従来の住民情報系ネットワークに加え、OA系ネットワークをインターネットから分離する等、情報セキュリティの抜本的強化を図り、セキュリティ向上を実現しました。	A 達成
情報化推進懇談会を2回開催し、第3期情報化推進計画を見直すとともに、各所管課に進捗状況を確認し、その結果を反映させた平成29年度アクションプランを策定しました。	A 達成

総合評価・総括

第3期情報化推進計画のアクションプランの行程に沿って、基幹系システムの再構築を含め、各施策はおおむねスケジュールどおりに進行しています。引き続き「市民サービスの質的向上」「活力あるまちの創造」「安心・安全なまちづくりの推進」「行政経営支援の強化」の4つの基本方針に沿った計画の実行に向けて、検討を重ねていきます。